

## 静岡県交通安全指導員の活動と交通安全教育

一般財団法人静岡県交通安全協会  
主幹交通安全指導員 天野 智津美

### 1 静岡県交通安全指導員 50年のあゆみ

交通安全指導員制度は、激増する交通事故、特に児童・生徒の交通事故を防止するため、昭和37年5月に30人の体制で発足し、本年で50年となります。

交通安全指導員の任命者は静岡県交通安全協会会長で、県内の27警察署に配置され、現在174人が勤務しています。主な任務は、街頭指導の活動や交通安全教育活動等を通じ交通安全の推進を図ることです。

<静岡県交通安全指導員の配置状況>

支部名	指導員数	支部名	指導員数	支部名	指導員数
県安協	1	富士宮	5	袋井	5
下田	3	清水	12	磐田	6
松崎	2	静岡中央	13	天竜	4
大仁	4	静岡南	10	浜松中央	13
三島	7	藤枝	5	浜松東	9
伊東	4	焼津	6	浜北	4
熱海	3	島田	5	湖西	3
沼津	17	牧之原	4	細江	4
御殿場	4	菊川	4	計	174
富士	12	掛川	5		

### 2 街頭指導活動

交通安全指導員の交通事故防止のための街頭活動は、大きく分けて、

- ① 児童・学生等の通勤・通学時間帯に合わせた街頭活動
- ② 夕暮れ時から夜間にかけての街頭活動

の2つですが、この活動をより効果的に実践するため、

- 交通量・通学路等、交通状況の把握
- 路線別交通事故の実態把握
- 市町、学校、警察等との連携

等に基づく取り組みが不可欠です。

また、街頭活動を通じ、

- 子供・高齢者等に対する安全な横断指導



- 自転車利用違反者に対する「自転車指導カード」の交付及び指導
  - 歩行者及び自転車利用者に対し、目立つ服装、反射材の必要性の指導
  - ドライバーに対する安全運転のための喚起広報
- 等を交通の現場において実践し、大きな効果をあげていると思っています。

### 3 交通安全教育活動

交通安全教育は、大きく分けて子供、高齢者、一般の行動類型別（歩行・自転車・自動車乗車時）に実施し、交通ルールの遵守、マナーの必要性等の具体的な指導に努めています。

平成 23 年中に交通安全指導員が実施した交通安全教育は、下表のとおりです。



<平成 23 年中交通安全教育実績>

区分	園児	小学生	中・高校生	高齢者	事業所	その他	計
回数	2,229	2,786	485	1,649	41	1,586	8,776
受講数	171,937	235,636	120,420	83,037	3,168	202,947	817,145

小学校関係の交通安全教育は、

2月～3月 . . . . . 新入学児童の保護者の方を対象とした横断誘導の旗振り指導

春休み . . . . . 新入学児童を含めての児童クラブを対象とした交通安全教室の開催

4月～5月 . . . . . 低学年を主体とした実践指導を交えての歩行指導



5月～6月 ・ ・ ・ ・ ・ 3、4年生を対象とした自転車の安全な乗り方教室  
また、高学年を指定した交通安全リーダー 制度の実施と  
「交通安全リーダーと語る会」の開催等が挙げられます。

前記の「交通安全リーダーと語る会」は県内の小学校が対象となり、保護者及び地域関係者の連携のもとに開催し、交通事故防止と交通安全活動の推進を図ることを目的としているものです。交通安全リーダーには、「リーダーワッペン」「リーダー手帳」などが交付されます。この会の参加者は、交通安全リーダー（6年生児童全員）、学校教職員、保護者、市町教育員会及び市町交通安全担当課、学区自治会関係者、警察、交通安全指導員等です。

開催方法は各小学校の独自性をもった内容で、児童が手作りしたマップ等で危険箇所を話し合ったり、よく見かける登下校風景を寸劇等で発表したりと様々です。

この「交通安全リーダーと語る会」は静岡の独自性のものでしょうか。他県ではあまり聞くことが無いように思います。

子供の眼から見た通学路の危険箇所や、地域の方が日ごろ児童に対して感じていることなど遺憾のない意見を参加者全員で話し合い、登下校の安全、また下級生に対して交通安全リーダーはどのようにあるべきかを再認識してもらう意義のある「会」です。

そして、この会での交通安全指導員の役割は交通安全の架け橋としてのアドバイザー的存在となっております。

それではここで、静岡市内の小学校の先生が問題を提起し作成されたパワーポイントの内容をご紹介します。



参考資料 1

平成24年度

## 交通安全リーダーと語る会

平成24年6月20日(水)  
13:55～

静岡市立横内小学校

**平成24年度  
交通安全リーダーと語る会**

---

平成24年6月21日 13:55~  
静岡市立横内小学校

**交通安全リーダーとは**

6年生が最上級生として、  
進んで学区の交通安全を呼びか  
けて、お手本になるような行動  
をしていくこと。

**テーマ**

● **交通事故のない横内学区に**



● ~交通安全リーダーとしてできること~

**アンケート調査**

● 交通安全についてどのよう  
に考えているのかアンケー  
ト調査を実施しました。ご  
協力ありがとうございました。

**通学路の途中に危険な所はありますか？**

子ども	保護者
-----	-----

子どもたちに比べて保護者の方が  
危険を感じている。

**通学路について**



2. 通学路の危険な場所はどこですか？

～とくに意見の多かった場所～

- 1 井上卓球場前・横内幼稚園付近
- 2 魚政前の横断歩道
- 3 サーバス付近
- 4 平井工業付近
- 5 東中から北街道に出る道
- 6 きよみずさん通り
- 7 地下道付近と地下道
- 8 水鳥体育館前
- 9 ファミリーマート駐車場
- 10 西門前の横断歩道











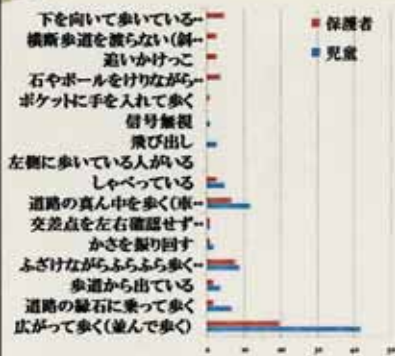


## 危険な場所のまとめ

- 信号のない交差点
- 北街道を横断する場所
- 北街道沿いの歩道、横断歩道
- 見通しの悪い曲がり道
- 歩道がない場所・歩道がせまい
- 高校生の自転車が多い交差点
- 自動車がスピードを上げてくる道路
- 細い道から広い道へ出るところ

## 歩き方について

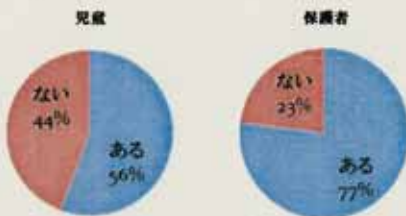
### 登下校のとき危険な歩き方だと思いますか？



とくに広がって歩くこと  
危険を感じている。

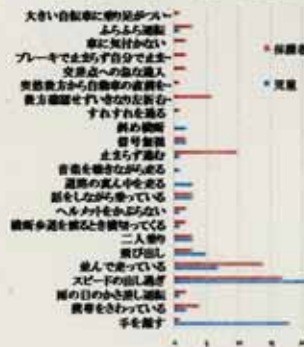
## 自転車の乗り方について

### 自転車に乗っている子どもを見て危険だと感じたことはありますか。



保護者の方が圧倒的に子どもたちの乗り方に危険を感じている。子どもたちは自分の運転が見えていない。

### 危険な乗り方の原因は何ですか。



子どもは、両手はなし、スピードの出すぎ、保護者は並んで走る、止まらず走るなどを危険と感じている。

## 交通安全リーダーに望むこと

交通安全について、しっかりと下級生に呼びかけていく。

お手本となるような態度や行動をとっていく。

## アンケートの まとめ

### 1. 大人のほうが危険を感じている

### 1. 大人の方が危険を感じている

- 過半路の危険箇所について、大人と子どもの感じ方が違う。
- 親は危険と感じても、子どもはあまり意識していないようだ。
- 歩行時の危険については大人も子どもも同じように感じている。
- 自転車の乗り方については大人が並走、スピードに対してとても危険を感じているのに対し、子どもはそれほどでもない。
- 大人は、歩行者の立場、自転車や車を運転する立場の両方の視点で見ている解答だと感じる。

### 2. 子どもはなぜ危ないと 感じないのだろう

### 2 子どもはなぜ危ないと感じないのだろう。

- 自分は大丈夫、車は来ないだろうと思っている。
- 周りを見渡す力が弱い。  
(低学年ほどその傾向にある)
- 注意力が足りない
- 客観的に見ることが子どもにとって難しい。
- 運転する人の立場が分からない。



### 3. 自転車の乗り方についての見直し

### 3. 自転車の乗り方についての見直し

- ・前だけを見ていて、周りが見えない。
- ・他人の自転車の乗り方は見えるが、自分の乗り方が見えていない。
- ・多くの人が長い年月乗っていて慣れてしまっている。
- ・自転車も自動車と同じ乗り物だと認識する必要がある。

**みんなで  
考えましょう**

### 交通安全リーダーとして…

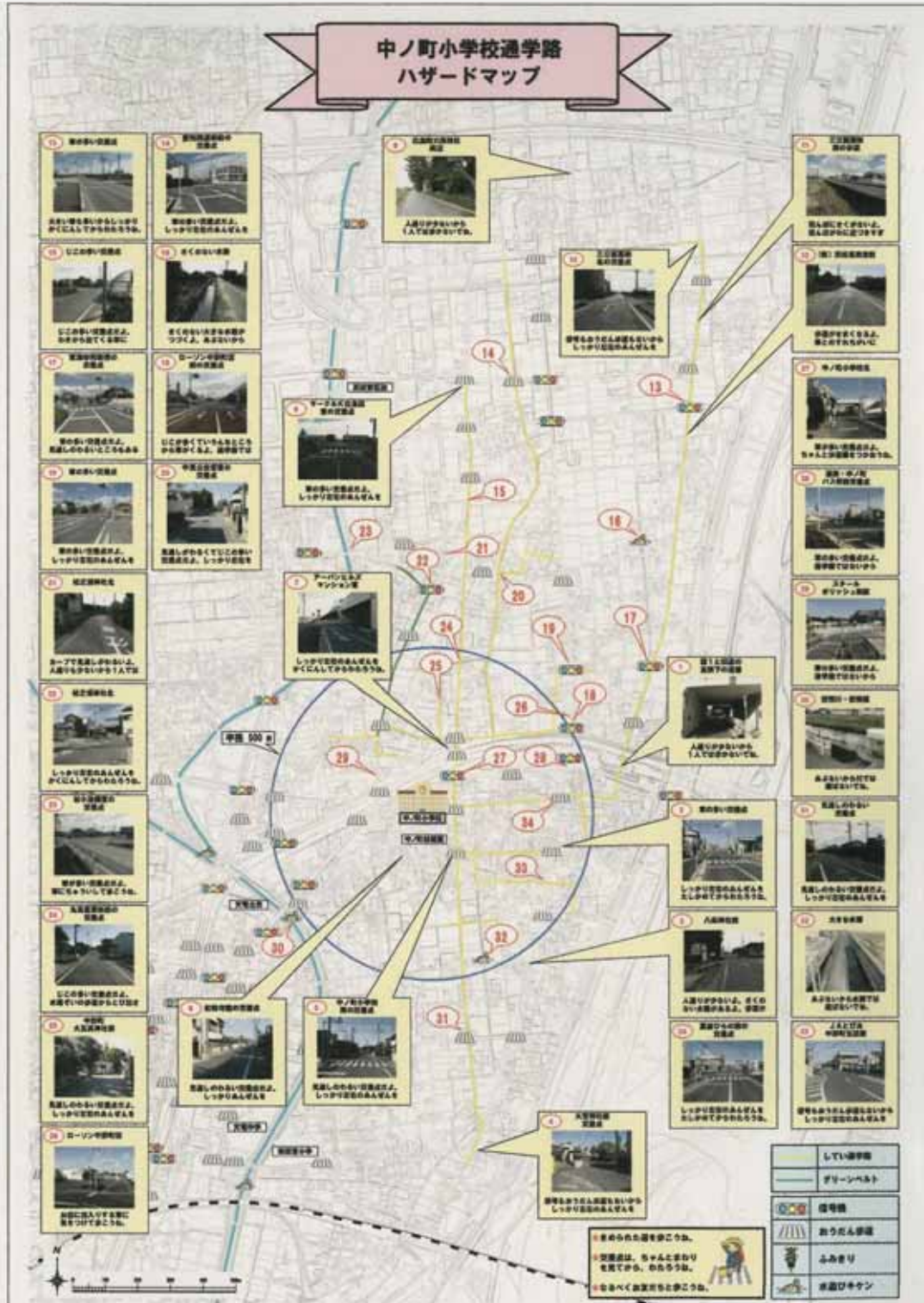
- ・わたしたちがやるべきことは何でしょうか？
- ・ほくたち、私たちに  
できることはなんでしょう？
- ・どんなことを期待されているのでしょうか？

**これからグループ  
わかれて話し合いをします。  
保護者の方もたくさんのご意見  
を出してください。  
よろしくお願いします。**

参考資料 2

浜松東地区支部が東区と合同で作製し各小学校に配付。

また、交通教室や「交通安全リーダーと語る会」等で活用しています。



参考資料 3

<学校と小学校PTAが作成したマップ>

